

新年のご挨拶



～ 中小規模事業所のイノベーションを支援します ～



一般社団法人板橋産業連合会

会 長 吉 川 宏

2017年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

旧年中は当連合会の事業運営に対し、ご理解とご協力を賜りまして、こころより御礼申し上げます。

経済政策アベノミクスは、デフレ脱却の早期実現を最優先課題として、平成24年にスタートし、円安・株高により、大企業を中心に改善は見られ、また、成長戦略は規制緩和や労働市場改革などの多くの施策が出されましたが、中小規模事業所においては、その効果を実感することは少なく、未だ経済の好循環には至っていない情勢です。一昨年を示された新・三本の矢におけるGDP 600兆円も、2020年頃を目安に引き継がれた「希望を生み出す強い経済」の数値目標と言われますが、個人や企業の内部留保額は増加傾向であり、GDPの6割を占める個人消費や設備投資の拡大には、将来への不安要素が多く、依然として景気回復への道筋を見出せない状況が続いています。

更に、成長戦略の柱でもあるTPPは、先の米国大統領選挙で当選したトランプ氏のTPP離脱表明や、OPECの原油減産問題も新たに浮上するなど、日本経済に与える影響が懸念されるところでございます。

板橋産業連合会は、このような中小規模事業所を取り巻く先行き不透明な経済環境の中、各種経営セミナーやものづくり講習会をはじめ、環境関連・安全衛生・労働問題をテーマとした講習会を開催しています。これらの事業活動を通じて、社員のスキルアップや基盤技術の向上等、経営力の強化にお役立て頂きたいと思っております。

本年も皆様のビジネスパートナーとして、また、イノベーション支援団体として、板橋区並びに関係団体との連携をはかり、地域産業の更なる発展に邁進する所存でございます。会員の皆様には、本年も引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

酉年は運を取込み、商売繁盛の機運を高める年と言われます。すべての会員事業所様にとりまして、飛躍の年となりますことをご祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶



～「産業文化都市いたばし」を目指して～



板橋区長

坂本 健

平成29年の輝かしい年明けにあたり、日頃より板橋区政に深いご理解とご協力を賜っております板橋産業連合会の皆様に、厚く御礼を申し上げますとともに、謹んで新年のご挨拶をさせていただきます。

板橋区は、都内有数の工業集積地で、なかでも光学は、日本の光学発祥の地としての地の利を生かし、戦略的に「光学の板橋」のブランド化を推進し、光学産業を軸とした、産業活性化に取り組んでおります。

昨年11月7日から9日にかけて、光学設計（オプティクス）、機械（メカニクス）、電子（エレクトロニクス）を融合した技術に関わる国際会議「オプトメカトロニクスに関する国際会議（ISOT 2016, Itabashi TOKYO）」を区内で開催いたしました。光学、機械、電子を融合した技術について、世界の12カ国から約130人の研究者、技術者が板橋区に集結し、それぞれの論文が発表されました。国内での開催は、11年ぶり2カ所目となります。

今回のISOTの開催実現には、「光学設計・製造に関わる国際会議(ODF)」の板橋開催や、区内事業者が連携する「板橋産業ブランド戦略会議（ブランドコア）」や「板橋オプトフォーラム(IOF)」の開催等に、産業団体と共に取り組んできた成果であります。徐々にではありますが、国内はもちろん、世界において「光学の板橋」のブランドが浸透してきていることを実感しております。

オプトメカトロニクスとは、光、機械、電気の各技術の融合による先進的な産業技術であり、光学産業のみならず、情報通信機器、医療機器、自動車産業等の基幹技術としても重要視されております。

ISOTのような国際会議を積極的に誘致することで産業ブランドの認知度を高めるとともに、光学産業や関連産業の研究者や技術者と区内企業との交流・連携の機会を増やすことを目的としています。また、ベンチャー企業の進出などを契機に、区内のベンチャー企業から、今まで考えもしなかったような産業分野が誕生する可能性も期待しております。

さらに、昨年、策定した「板橋区産業振興構想2025」を推進することにより、光学産業をはじめとして、各産業が地域資源を活かした新たな価値の創造を図る、「産業文化都市いたばし」の実現を目指していきたいと考えています。

板橋区が、将来、全国有数の産業のまちとして大きく発展していくためには、関係機関との連携を強めていくことが極めて重要であると考えます。今後も貴会のご協力をぜひともお願い申し上げますとともに、板橋産業連合会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶



～ 誰もが安心して・納得して働けるTOKYO ～



池袋労働基準監督署

署長 山下 節子

平成29年の新年を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

一般社団法人板橋産業連合会並びに会員企業の皆様方には、平素より当初の業務運営につきまして格別のご理解とご協力を賜り心から御礼申し上げます。

昨年は、引き続き景気も弱含みながらも緩やかな回復基調が続いているといわれ、雇用情勢も、高齢者や女性の労働参加が進み雇用者数は増加傾向にあるなど改善が見られております。

そのような中、池袋労働基準監督署では、昨年1年間、

- ・長時間労働の抑制に向けた取り組み
- ・過重労働による健康障害防止対策
- ・労働災害の減少に向けた対策
- ・働く人のセーフティネットである「労働保険制度」の適切な運営

に力を入れて積極的に取り組んでまいりました。

また、「ストレスチェック」の実施が常時50人以上の事業場に法律で義務化されてから1年が経ちまして、当署へも実施企業から「実施結果報告書」のご提出をいただいているところですが、企業のメンタルヘルス対策の新たな展開が期待されているところでございます。

しかしながら、過重労働が懸念される事業場への監督指導では、長時間に関する高率の法違反が指摘され、長時間労働を理由とする脳・心臓疾患、精神疾患の労災請求も高止まりの件数となっております。

平成28年の労働災害発生状況についても、11月末の段階で、当署管内での休業4日以上の災害発生件数が前年同期を1割も上回っており、災害激増という非常に深刻な状況となっております。

継続雇用の高齢者等に関する有期労働契約の無期転換ルールについては、特例の適用を受けられるための「労働局長の認定」の要否について、法施行から5年が経過する平成30年を前に車内でご検討いただくことが重要な年でございます。

雇用や安全衛生を取り巻く法律もめまぐるしく改正される中、本年も、これらの当初の業務運営にあたりまして、引き続き会員の皆様方のご理解、ご協力を賜りますようお願いする次第でございます。

末筆ですが、貴会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝、ご繁栄をここから記念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶



～ 誰もが安心・納得して働ける社会を目指して～



池袋公共職業安定所

所長 上島 陽一

一般社団法人板橋産業連合会会員の皆様、あけましておめでとうございます。

昨年中は、当所の円滑な業務運営に多大なるご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、最近の雇用情勢は、有効求人倍率は上昇傾向にあり、完全失業率は低水準で推移し、雇用者数は増加していることから、改善が進んでいると判断されており、当所管内においても同様に改善傾向を維持しているところです。

昨年は、経済の発展や安定した雇用情勢を維持することを目指し、雇用を取り巻く環境の整備や雇用の質を高める取組として、非正規雇用労働者の正社員転換や若者を中心とした正社員就職の拡大などを進めてまいりました。

一方で介護・保育・看護といった社会保障に関係する分野や、建設分野などにおける都内の人手不足の状況は深刻さを増してきており、これらの分野での人材確保対策として、公的職業訓練（愛称：ハロートレーニング）の一層の活用による人材育成を図ってまいりました。

また、引き続き「福祉重点所」として、ハートフルワークコーナーにおいてツアー型面接会の開催など、関係機関と連携を図り、地域のニーズに合わせた様々な取り組みを進めてまいり所存であります。

会員の皆様におかれましては、引き続き当所の業務運営にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、会員の皆様にとりまして、本年が良い年になりますよう心よりお祈り申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。



第66回板橋産連軟式野球大会決勝戦

A級7チーム、B級13チームのご参加をいただき、6月26日（日）より開催してまいりました第66回板橋産連軟式野球大会が、12月18日（日）に戸田橋球場にて決勝戦を迎えました。

A級決勝は、見ごたえのある試合が展開されましたが、日経印刷(株)チームの善戦及ばず、東京ラインプリンタ印刷(株)チームが5年ぶりに栄冠を勝ち取りました。

B級決勝は、手に汗握る接戦が繰り広げられ、延長の末、大村製本(株)チームが逆転勝ちし、平成6年の初参加から22年来、悲願の初優勝となりました。

6か月にわたる大会でしたが、板橋区軟式野球連盟のスタッフ及び審判団の皆さまのご協力のもと、無事終了いたしました。ありがとうございました。

試合結果は次のとおりです。

	A 級	B 級
優 勝	 東京ラインプリンタ印刷(株)	 大村印刷(株)
準 優 勝	 日経印刷(株)	 (株)タニタ

■ A級最優秀選手賞 高橋 勇太 選手 (東京ラインプリンタ印刷(株))
 A級敢闘賞 関根 悠雅 選手 (日経印刷(株))

■ B級最優秀選手賞 西森 翔馬 選手 (大村製本(株))
 B級敢闘賞 角野 陽昂 選手 ((株)タニタ)

※トーナメント表は次頁に掲載

労働雇用情勢講習会を開催

去る12月8日(木)、板橋産連会館3Fにて、労働雇用情勢講習会を「最近の労働雇用情勢の動向と法改正のポイント」と題して、池袋労働基準監督署及び池袋公共職業安定所より職員の方々を招き、40名の会員の皆さまにご参加をいただき、開催いたしました。

池袋労働基準監督署副署長 稲員 央 様より、有期契約の高度専門職及び定年後5年を超える継続雇用(有期から無期)等について、ご説明いただきました。

また続いて、池袋公共職業安定所雇用保険適用課長 阿部 聡 様より、法改正に伴う65歳以上の労働者への雇用保険の適用拡大について、そして統括職業指導官 三澤 秀滋 様より、キャリアアップ助成金等の各種助成金について、ご説明いただきました。



板橋産業技術支援センター設置機器実用セミナー (H28 第4回) 塗膜&めっき膜の膜厚測定実習

断面観察試料を作成し、デジタルマイクロスコープで膜厚を計測します

【募集企業】 板橋区内企業 先着5社(各社3名まで) 受講料無料

【セミナーの特徴】

- * 各社ごと個別に実施します。
- * 試料作成の翌日以降に膜厚測定実習を行うため、2日間のセミナーとなります。
- * 膜厚測定を希望する試料片を持参ください。試料数は2個までとします。

【開催日】

- * 2月6日～28日
- * 事前に希望日を調整・決定します。

【内容】

- * 試料片を、硬化剤を用いて樹脂カップに埋め込み、固定します。(写真1)
- * 研磨装置を用いて断面を研磨します。(写真2)
- * デジタルマイクロスコープを用いて断面観察を行い、膜厚を計測・撮影します。(写真3)

【お申込み・問い合わせ先】

板橋産業技術支援センター TEL: 03-3960-2800、FAX: 03-3960-2802

※ 試料作成用研磨装置については、前月号の機器紹介をご覧ください。



写真1



写真2



写真3

板橋産業連合会の主な行事のお知らせ

開催日	行事	備考
1月18日(水))	3D CAD講座 ～無料で使える「Fusion360」の基本操作を解説～ 1月コース(3日間) 1月18日(水)～20日(金) 2月コース(3日間) 2月6日(月)～8日(水)	産連会館2階パソコン室 18時30分～21時(各日)
1月27日(金)	板橋産業連合会 新年賀詞交歓会	産連会館3階会議室
2月22日(水)	定期健康診断	産連会館3階会議室
2月23日(木)	2月 役員会・理事会	産連会館3階会議室
3月7日(火)	環境管理研究会施設見学会	つくば市 気象庁気象研究所
3月10日(金)	板橋産連ボウリング大会	トミコシ高島平ボウル 18時30分～

謹 賀 新 年

新春を迎え会員企業の皆さまの益々のご発展をお祈り申し上げます。

平成29年 元旦

一般社団法人 板橋産業連合会

会 長 吉川 宏 トックベアリング(株)

副会長 樋口 茂	(株)太平鉄工所	副会長 柳井 繁	(株)高梁特殊印刷
副会長 佐々木善光	(株)佐々木建築設計	副会長 加藤 政晴	(税)ブレイス
副会長 長江 洋介	長江建材工業(株)	副会長 吉田 栄	日本無機化学工業(株)
副会長 大島 隆夫	(株)三星光機製作所		